



# 自然との共生

COEXIST WITH NATURE

私たちは、豊かな自然の恵みを受けて事業活動を行っています。  
豊かな自然環境を守るために、多様な生物の生態系や水資源の  
持続可能性に配慮し、事業活動を行ってまいります。

自然との共生に  
取り組むことで貢献できる  
主なSDGs



## 生物多様性をはじめとする自然環境に配慮した事業活動

### 《 2020年度実績 》

生態系の持続可能な利用や管理を行うことは、生態系が有する機能を維持し、自然災害リスクの低減につながります。生物多様性への配慮に加え、防災・減災の取り組みを実施しています。

#### 生物多様性への配慮

#### ▶ 流水の清潔の保持、河道の維持などの河川環境の保全活動

○水力発電における濁水対策と河川維持流量の放流を実施しています。

#### ▶ 送電線や変電所新設工事などで現地調査を実施し、自然に与える影響を低減

- 工事範囲内の希少植物種の消失を回避するため工事範囲外へ移植したり、猛禽類への工事による影響を低減するため、工程を変更しました。
- 水力発電所関係工事における法面に種子マットの設置や種子の吹付の実施をしました。

図1 環境との調和



塗装前

塗装後

#### ▶ 各種工事で周囲の景観との調和を計画 図1

○送電鉄塔防錆塗装工事や水圧鉄管塗装工事、水力発電所搬入路(橋塗装)で茶色の塗装色を採用するなど環境との調和を優先しました。

#### 防災・減災の取り組み

- ▶ KDDIと現場業務の効率化・レジリエンスの強化に向け、変電所にて5G共同検証を開始
- ▶ 長野県と東日本電信電話株式会社の三者による「災害時における相互連携に関する協定」締結
- ▶ 愛知県との「災害時における停電の早期復旧に向けた連携に関する協定」の締結

### 《 今後の取り組み 》

- ▶ 自然再生活動、自然保全技術開発の推進
- ▶ 事業エリアの自然との調和、環境保全
- ▶ 水資源の持続可能性に配慮した事業活動
- ▶ レジリエンスの強化
- ▶ 生物多様性に配慮した事業活動

#### TOPICS 1

### 生態系と地域共生



#### 絶滅危惧種の保護技術開発

社有地や電力設備周辺で生息地が確認された絶滅危惧種や地域の固有種について、生理・生態の解明や保護を実施し、キヨミトリカブト、タデスミレ、シナノショウキランなどの希少植物の増殖技術を確認しました。



#### 二枚貝幼生検出法の開発

三河湾において水産上重要な二枚貝10種についてコロナウイルス検出法でもあるリアルタイムPCR法<sup>※1</sup>を用いることにより二枚貝の資源保護を図る上で重要な幼生検出法を確立しました。これにより、近年急激な資源減少に悩む三河湾の二枚貝漁業への貢献が期待でき、火力発電所と地域漁業との共生を達成していきます。本研究は、引き続き、(株)JERAにて取り組んでおります。

#### TOPICS 2

### 水源涵養と減災による生態系保護

#### 内ヶ谷の森の管理と森の町内会活動

当社は、地元岐阜県の林業者である株式会社佐合木材と連携し、岐阜県郡上市大和町内ヶ谷山林において、効率的な森林の施業と適切な森林の保護を通じて、森林の持つ多様な機能を十分に発揮させることを目的とする持続可能な森林管理を実施しています。なお、森林施業により発生する未利用間伐材は、当社が出資しているバイオマス発電所の燃料として有効利用していきます。また、「紙」の利用を通じて森林間伐を促進する環境貢献活動「森の町内会」のサポーター企業として支援し2010年度から2020年度までの間に中部電力グループ全体で長野県の森役85.75ha(ナゴヤドーム約18個分)の間伐促進に貢献しました。



#### TOPICS 3

### 生物多様性



(株)テクノ中部本店ビルの屋上ピオトープ名古屋港東側の工場地帯に位置するビルの屋上に里山の風景をモデルにした小川、水田、湿地、樹林を有するピオトープを整備しており、都市環境においても多様な生物が生息しています。2019年秋には愛知県内の高校の科学部が保護活動として飼育・繁殖させたウシモツゴ(絶滅危惧種の魚類)を放流し、ピオトープでの増殖を目指しています。

※1 DNAの塩基配列の違いから生物種を判別する新たな生物検出法で、特に判別が難しい生物の検出に優れるため、当社では従前より火力発電所における海洋付着生物対策等に利用